

People

3.1
2006

Contents

百歳記念 森田茂展	2
障害者自立支援法	4
筑西あらかると	6
市民記者のページ	10
お知らせ	12



森田茂『黒川能 (得度)』昭和 59 年 (1984 年)

故郷を愛し、芸術に生きる一世紀

■しもだて美術館拡大常設展『百歳記念 森田茂展』

3月7日(火)～4月2日(日)

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）／休館日：月曜日

入館料：一般（大学生以上）200 円・高校生以下無料 ※3月28日(火)～30日(木)は無料開放



しもだて美術館

Shimodate Museum of Art

筑西市丙 372 アルテリオ3階 TEL.0296-23-1601 <http://www.city.chikusei.lg.jp/museum>

羽黒神社の祭り 筑波山の色 勤行川の川面の輝き
すべて私が絵を描くのに必要なものだった

森田 茂

もりた しげる

100歳を迎える今も芸術への熱意は衰えることなく、ふるさと筑西を思い、キャンバスに向かい続ける筑西市名誉市民の洋画家・森田茂先生（文化勲章受章者）。しもだて美術館拡大常設展『百歳記念 森田茂展』（3月7日～4月2日）の開催にあわせて、森田先生の軌跡を紹介します。



- ▲『静物』大正15年（1926）
- ◀『壺と少年』昭和28年（1953）
第9回日展

明治40年（1907）

真壁郡下館町本城町（現・筑西市本城町）に生まれる。

「私の原点は、私を育ててくれた下館にあります。羽黒神社のお祭りのお囃子の音色、下館のまちなみ、筑波山の色、勤行川の川面の輝き。すべてが私が絵を描くのに必要なものだったのです」

大正14年（1925）

茨城県師範学校本科第2部（現・茨城大学）を卒業。真壁郡大田尋常高等小学校（現・筑西市立大田小学校）の教員となる。熱心に子どもたちにデッサンを教え、子どもたちから「デッサン先生」と慕われる。

大正15年（1926）

「純真な生徒諸君と過ごした3年間。幸福な私の出発点でした」

昭和3年（1928）

第3回白牙会展に『静物』が入選。大田尋常高等小学校を退職。画家を志し上京。

昭和6年（1931）

熊岡洋画研究所に入所。

昭和7年（1932）

飛騨高山に写生旅行。

昭和8年（1933）

第1回東光展に『白衣』が入選。

昭和9年（1934）

第2回東光展に『稽古』が入選、

『稽古』がK氏奨励賞受賞。第15回帝展に『神楽獅子の親子』が初入選。

昭和10年（1935）

第1回大東会絵画展に『飛騨祭』が入選。

昭和11年（1936）

文部省美術展覧会鑑査展に『飛騨広瀬の金蔵獅子』が入選。

昭和13年（1938）

東光会会員となる。第2回新文展で『金蔵獅子』が特選。

昭和21年（1946）

第2回日展に『阿波人形』が入選。

昭和31年（1956）

東光会委員（昭和55年初代理事



▲『装』昭和36年(1961)
第4回新日展

◀『下館みこし祭』昭和61年(1986)

▶『芸妓牡丹』昭和45年(1970)
第2回改組日展



◀『岩礁の松』平成12年(2000)

現在	平成15年(2003)	平成9年(1997)	平成5年(1993)	平成4年(1992)	平成3年(1991)	平成元年(1989)	昭和63年(1988)	昭和61年(1986)	昭和56年(1981)	昭和52年(1977)	昭和51年(1976)	昭和47年(1972)	昭和45年(1970)	昭和41年(1966)
光会会長	日本芸術院会員・日展顧問・東京芸文会会長	『卒寿記念 森田茂展』(下館市文化ギャラリー・コミュニティプラザ)開催。	『豊島区制70周年記念事業 名誉区民・文化勲章受章洋画家森田茂展』(東京芸術劇場)開催。『下館市制50周年・しもだて美術館開館記念特別展 森田茂展』(しもだて美術館)開催。	『森田茂展』(下館市中央公民館)開催。	日本芸術院会員。 勲三等瑞宝章。 第18回いはらき賞受賞。	『森田茂展』(下館市総合福祉センター)開催。「自分の絵を郷里に残したい」と、下館市に油彩画22点を寄贈。	下館市に油彩画11点、デッサン19点を寄贈。 文化功労者。	下館市文化ギャラリーオープン記念『郷土巨匠展』を開催。 下館市名誉市民に推挙。 文化勲章受章。茨城県名誉県民に推挙。	『卒寿記念 森田茂展』(下館市文化ギャラリー・コミュニティプラザ)開催。	『豊島区制70周年記念事業 名誉区民・文化勲章受章洋画家森田茂展』(東京芸術劇場)開催。『下館市制50周年・しもだて美術館開館記念特別展 森田茂展』(しもだて美術館)開催。	日本芸術院会員・日展顧問・東京芸文会会長	長)、日展審査員(昭和37年評議員、46年理事、50年監事、52年常務理事、57年顧問) 第9回新日展で『黒川能』が文部大臣賞受賞。 第1回改組日展出品作品が日本芸術院賞受賞。	第9回新日展で『黒川能』が文部大臣賞受賞。	第9回新日展で『黒川能』が文部大臣賞受賞。

どの障害者も同じ制度のもと地域で自立した生活を

4月から障害者自立支援法がはじまります

現在、障害者は3つの種類に分けられ、障害の種類や年齢に応じて受けられる福祉サービスの内容などが決められています。障害者自立支援法の成立により、どの障害の人も共通の福祉サービスが地域で受けられるようになります。

* 障害者の福祉サービスを一元化します

サービス提供主体を市に一元化。障害の種類（身体障害、知的障害、精神障害）にかかわらず障害者の自立を目的とした共通の福祉サービスは共通の制度により提供します。

* 障害者ももっと働ける社会にします

一般就労に移行することを目的とした事業を創設するなど、働く意欲と能力のある障害者が企業などで働けるように福祉の面から支援します。

* 地域の限られた社会資源を活用できるように規制緩和します

市が地域の実情に応じて障害者福祉に取り組み、障害者が身近なところでサービスが利用で

きるように、空き教室や空き店舗の活用も視野に入れて規制を緩和します。

* 手続きや基準を透明化・明確化します

支援の必要度合いに応じてサービスが公平に利用できるように、利用に関する手続きや基準を透明化・明確化します。

* サービス費用をみんなで支え合います（原則として費用の1割負担）

障害者が福祉サービス等を利用した場合に、食費などの実費負担や利用したサービスの量などや所得に応じた公平な利用者負担となります。（適切な経過措置が設けられます）

詳しくは

市障害福祉課更生支援係まで
内線 225

新しいサービスのしくみ

複雑に組み合わせられていた福祉サービスがひとつになり、総合的に障害者の地域での自立した生活を支援します。

障害福祉サービス

介護給付

障害程度が一定以上の人に生活上または療養上の必要な介護を行います。

- ◎療養介護
- ◎居宅介護（ホームヘルプ）
- ◎重度訪問介護
- ◎行動援護
- ◎生活介護
- ◎児童デイサービス
- ◎短期入所（ショートステイ）
- ◎重度障害者等包括支援
- ◎共同生活介護（ケアホーム）
- ◎施設入所支援

訓練等給付

身体的または社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行います。

- ◎自立訓練
- ◎就労移行支援
- ◎就労継続支援
- ◎共同生活援助（グループホーム）

自立支援医療

障害の種類や年齢により決められていた医療費のしくみが一本化されます。

補装具費の支給

補装具の購入や修理にかかる費用の原則1割を自己負担、9割を市が負担します。
※所得に応じた自己負担額の上限額を設定します。

地域生活支援事業

市が障害者を総合的に支援する体制をつくり、様々な事業を行います。

- ◎相談支援事業
- ◎コミュニケーション支援（手話通訳等）
- ◎日常生活用具の給付
- ◎移動支援事業 など

身体障害者・知的障害者
精神障害者・障害児

※障害児の施設サービスについては10月より措置制度から契約制度に変わります。

市政メモ

■文化財防火デーにあわせて防災訓練



『文化財防火デー』の1月22日、中館の観音寺で、市や下館消防署、消防団、地元自治会などが参加し、防災訓練を実施。地域住民が見守る中、前日から降り積もった雪が残る本堂の前で、本番さながらの消火訓練などを行いました。

■講演会・男女共同参画社会をめざして



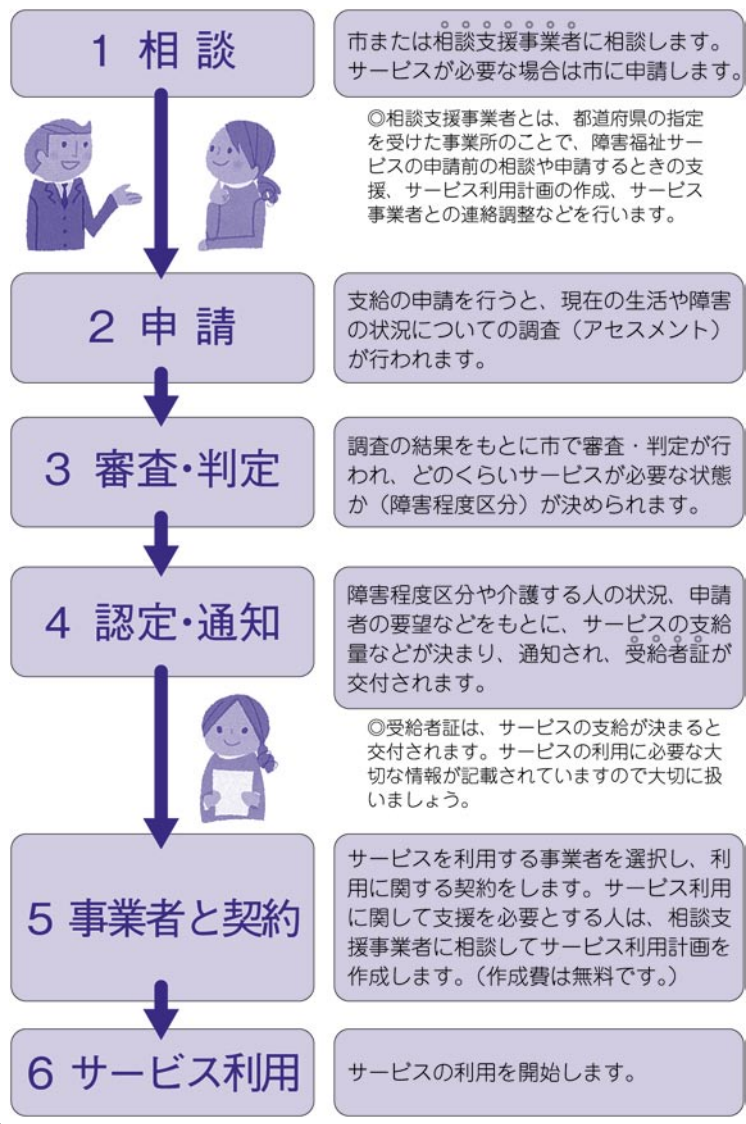
1月29日、スピカ6階の市コミュニティプラザを会場に、映画『釣りバカ日誌』などの監督として知られる栗山富夫さんを講師に迎え、講演会『男女共同参画社会をめざして』を開催しました。また併せて、小中学生を対象とした『男女共同参画社会に関する作文コンクール』の最優秀賞受賞者が、受賞作品の朗読を行いました。

■筑西幹線道路・鬼怒川新橋（仮称）起工式



2月7日、関本中の鬼怒川河川敷で、筑西幹線道路下館三和線の鬼怒川新橋（仮称）の起工式を開催。橋本昌茨城県知事や富山省三筑西市長など関係者約100人が参加しました。鬼怒川新橋を含む筑西幹線道路の早期整備により、広域的な交通ネットワークの強化が期待されます。

障害福祉サービスの利用のしかた



サービスを利用したときの費用

サービスを利用すると、費用の1割を支払います。ただし、所得に応じて上限が決められていて、負担が重くなりすぎないようにしています。残りの9割は市・県・国が負担するしくみです。

利用者負担の上限額

所得に応じて4つの区分に分けられ、負担の上限額が決められています。

区分	対象となる人	上限額（月額）
生活保護	生活保護世帯の人	自己負担なし
低所得1	住民税非課税世帯で障害者または障害児の保護者の年収が80万円以下の人	15,000円
低所得2	住民税非課税世帯で低所得1に該当しない人	24,600円
一般	住民税課税世帯の人	37,200円

◎同じ世帯に障害福祉サービスを利用する人が複数いる場合などでも、合算した額がこの上限額を超えた分は高額障害福祉サービス費が支給され負担が軽減されます。

◎資産が一定以下の人は、個別の減免や社会福祉法人の利用者負担の軽減があります。

施設でサービスを利用したとき

施設でサービスを利用する場合の食費や光熱水費などは全額自己負担です。※ただし、施設入所者で生活保護、低所得1、低所得2の人は申請により補足給付が支給され、負担が軽減されます。



園児が豆まき「福は内」

恒例の黒子まち・節分祭

1月29日、黒子の千妙寺で、『黒子まち・節分祭』が行われました。主催したのは、黒子まち・節分祭実行委員会。戦後途絶えていた伝統行事を、地域の活性化や文化継承などを目的として再興したもので、今年で9回目の開催となります。暖かな日差しに恵まれたこの日、物産展やフリーマーケットなども開かれた境内は、家族連れなどで大賑わい。無病息災を願う護摩祈祷が行われた後、市立関城幼稚園の園児や年男などが、「福は内、鬼は外」の声とともに豆をまき始めると、少しでも多くの福を招き入れようとする人たちが、競いあうようにその豆を受けていました。

また、アトラクションとして、和太鼓の演奏や園児たちによる『よさこいソーラン踊り』などが披露され、訪れた人たちを楽しませました。

ふるさとへの思いを大いに語る

わがまち筑西 語るベコンクール



1月24日、下館商工会議所による創立50周年記念事業『私の主張 第3回わがまち筑西 語るベコンクール』が、市コミュニティプラザで開催されました。筑西を愛する発表者6人が『明日の筑西を考える』というテーマに沿い、市の将来像やまちづくりなどについて熱く主張。最優秀賞には、常陸秋ソバや酒米『五百万石』の生産・流通を通じて感じた情報発信の重要性などを説いた、川田誠一さん(56歳・西方)が選ばれました。

針供養祭り

あわしま
金井町の淡島神社



2月8日、金井町自治会により恒例の針供養祭が開かれました。この祭は、日ごろ使っている針に感謝し、折れたり使い古した針を柔らかい豆腐などに刺して供養したり、裁縫等の上達を願う祭りで江戸時代初期からはじまりました。祭りに参加した武井こと(大町)さんは「以前は、和裁学校の着物姿の生徒さんたちが国道50号から神社まで列をつくるほどでした」と昔を懐かしんでいました。

■松本哲男展〔併催：板谷波山と近現代の陶芸〕

前期3月26日（日）まで

後期3月28日（火）～5月7日（日）まで 月曜休館

佐野市立吉澤記念美術館〔佐野市 TEL0283(86)2008〕

入場料＝一般500円 高大生300円 小中生100円

■歴史浪漫 源平の時代展

3月21日（祝）まで ※3月6日（月）は休館

茨城県近代美術館〔水戸市 TEL029(243)5111〕

入場料＝一般830円 高大生580円 小中生350円

■特別展 浅原コレクション 日本人形の美と幻想

3月29日（水）まで

茨城県立歴史館〔水戸市 TEL029(225)4425〕

入場料＝一般580円 高大生300円 小中生150円

同時開催＝一橋徳川家のひなまつり

■人間の未来へ ダークサイドからの逃走

5月7日（日）まで 月曜休館

水戸芸術館〔水戸市 TEL029(227)8111〕

入場料＝一般800円 中学生以下・65歳以上無料

■中丸三千繪 ソプラノ・リサイタル

4月22日（土）午後5時開演

結城市民文化センターアクロス〔結城市 TEL(33)2001〕

入場料＝S席7,000円 A席6,000円

（学生は各1,000円引）

■五木ひろし スペシャルコンサート 2006

5月15日（月）

①午後2時30分開演 ②午後6時30分開演

茨城県立県民文化センター〔水戸市 TEL029(241)1166〕

入場料＝S席7,000円

■ジョージ・ウィンストン ジャパン・ツアー 2006

6月4日（日）午後2時開演

栃木県総合文化センター〔宇都宮市 TEL028(643)1010〕

入場料＝全席指定6,000円

わが家のアイドル

1歳のお誕生おめでとう



白井 康聖くん
3月2日生（樋口）



大畑 愛実ちゃん
3月3日生（稲荷）



中山 信繁くん
3月3日生（岡芹）



板谷 花音ちゃん
3月5日生（南町）



上村 依楓ちゃん
3月5日生（市野辺）



杉山 美咲ちゃん
3月6日生（小栗）



川野 みづ紀ちゃん
3月7日生（女方）



菅原 大夢くん
3月9日生（玉戸）



古橋 勇征くん
3月9日生（二本木）



菊次 萌花ちゃん
3月12日生（布川）



堀江 菜々美ちゃん
3月12日生（榎生）



長須 湊くん
3月16日生（徳持）



福島 万尋ちゃん
3月16日生（清水）



栗野 絢心くん
3月18日生（藤ヶ谷）



高野 蒼大くん
3月18日生（みどり町）



西村 葵くん
3月19日生（押尾）



竹内 蓮くん
3月22日生（関本中）



田山 秦くん
3月23日生（玉戸）



菊池 裕美ちゃん
3月24日生（岡芹）



富田 弥生ちゃん
3月26日生（折本）



大塚 陸斗くん
3月28日生（栄町）



池田 蒼生くん
3月30日生（藤ヶ谷）



大島 颯弥華ちゃん
3月30日生（上平塚）



千葉 琢磨くん
3月30日生（下中山）



安藤 翼くん
3月31日生（市野辺）



海老澤 綾乃ちゃん
3月31日生（松原）

平成17年5月生まれのお子さんの写真を募集しています。写真の裏面に、
①お子さんの氏名・生年月日・性別、
②保護者の氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記のうえ、3月31日（金）までに市広報聴課広報係へ。応募者多数の場合は抽選といたします。

6年生が描くわたしの夢、このまちの未来。

嘉田生崎小学校



おお たけ りほ
大武 利帆

世界の誰もが知っているような美容師になりたい。障害のある人も誰もが住みよい福祉優先のまちにしたいな。



おお しま りょうすけ
大島 峻祐

看護師になって、病氣やけがをした人を看護してあげたい。筑西市全体を明るくて元気のあるまちにしたい。



つる み ひと み
鶴見 仁美

デザイナーになって自分のデザインした服をたくさんの人に着てほしい。明るくにぎやかなまちにしたいな。



あお き たか し
青木 大志

柔道選手になって、オリンピックに出場できるようにしたい。だけれども優しい心の持てるまちにしたい。



おお たけ あ や か
大武 亜也伽

作家になって子どもから大人まで多くの人が楽しめる話を作りたい。緑いっぱい、住み心地良いまちにしたいな。

長讃小学校



お し ま と も き
小島 知貴

人のために働き、人に優しくできる国にしたい。日本はもちろん、他の国の人にも優しくできるまちにしたい。



お し ま あ い り
小島 愛里

カウンセラーになっていろいろな人の心の悩みを聞き、一緒に解決してあげたい。元気になれるまちにしたいな。



たて の ま さ や
館野 政哉

研究者になって、世界が平和になるためのものを発明したい。笑顔がたくさんあふれる幸せなまちにしたい。



と や ま あ り さ
外山 亜理沙

絵本作家になって、世界中の人々に命の大切さを伝えたい。心のきれいな人がたくさんいるまちにしたいな。



みず がき たつ や
水柿 達弥

パイロットになって世界中を飛び回り、家族を世界一周旅行に連れて行きたい。飛行場のあるまちにしたい。

日ごろ暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。市広報広聴課へ。

おたより

歩き方を見直そう

筑西市の高齢化率は20・4%（平成17年7月現在）、5人に1人が65歳以上。高齢者が車いす依存、あるいは要介護状態に陥る主因は脳卒中、次いで転倒による骨折といわれています。

なぜ転倒が起きるのでしょうか。足が上がってないからです。前に出した足の爪先（つまさき）が上がっていけばつまづきは防げるのです。身体の筋肉の70%は脚に付いて脊柱、骨盤を支えています。坐って寄りかかる椅子生活などで姿勢も悪くなってきたりするように見受けられますが、姿勢や歩き方が悪いと上体を支えるに必要な脚の筋肉は衰えます。歩けば余分な脂肪を燃焼するので、生活習慣病の予防効果はありますが、ただ歩いているだけでは、筋力低下は防げません。いざ腰が落ち、膝（ひざ）が曲がり、摺（す）り足になって転倒しがちになります。

今こそ、軽視されがちであった先人が自然に身につけてきた本来の歩き方「背筋を伸ばし、爪先上げ・踵（かかと）着地」を見習い、習慣付けることが必要です。

鳥生厚夫（藤ヶ谷）

無病息災を願い 辻集落で『火渉』

2月11日、辻集落の稲荷神社境内で市指定の無形民俗文化財『火渉』が行われました。薪や粗朶を人の背丈ほどに積み上げ、神饌を供えてから、修験者が四方から点火。十分に火が回ってから崩して、修験者に続き、子どもからお年寄りまで燃え残る薪の上を裸足で渡ります。本年もたくさんの人が訪れ無病息災を祈りました。



やまなか あやな 山中 亜弥奈さん (玉戸)

「いた病院には同じくらしいの子どもが何人もいて、仲良くなりました。先生や病院の友達と一緒に交番や消防署を見学したり、ご飯を食べに行ったりしたことが楽しかった。先生も看護師さんも優しく、勉強や遊びを教えてくれました。私も将来は看護師になって、病気の人の世話をしたいと思っています」。



ひと

「優しくしてくれた看護師のようになりたい」 『心に残る医療』体験記コンクール優秀賞

「賞をもらえるとは思っていなかったのですが、優秀賞になったと聞いてびっくりしました。すごくうれしいです」と笑顔で語ってくれたのは、第24回『心に残る医療』体験記コンクール（主催：日本医師会・読売新聞社）小学生の部で優秀賞に輝いた、大田小学校4年の山中亜弥奈さん。山中さんは、3年生の時に大腿骨の病気にかかり、その後、手術と半年以上におよぶ入院、車イスでの生活を体験しました。医師や

看護師、ともに入院していた子どもたちとのふれあいや、その中で感じたことなどを『病気になってわかったこと』と題して綴ったのが、受賞作品です。「まだ全力で走れないけれど、縄跳びもできるし、体育の時間も出られるようになりました。手術したのは3年生の夏休み。少し怖かったけれど、手術が終わって1人で病室にいた時、看護師さんが一緒にトランプで遊んでくれて、うれしかったです。入院して

■児童・生徒の安全対策

『地域のちから』で、子どもたちを守るに

次々と信じられないような事件・事故が新聞やテレビを賑わし、何が起こるか予想のできない現代。学校においても児童・生徒が被害者となる痛ましい事件が起きていることに、私自身、子を持つ母として胸を痛めています。最近、登下校の時間に地域住民が子どもたちを見守ったり、巡回する取り組みが全国で行われ始めており、筑西市でも、子どもを守るための活動が積極的に行われています。市全体としての取り組み、そして私の地元・河間地区での取り組みを紹介します。

筑西市による取り組み

筑西市は、建設計画の中で市の将来像を『人と自然、安心して暮らせる共生文化都市』とし、施策の大綱でも『安全で快適に暮せるまち』を掲げています。

私の住む河間地区がある旧下館市では、平成16年、小中学校長によって組織する校長会と市教育委員会の呼びかけにより、『地域子ども安全ボランティア』が発足。合併後は筑西市全体に範囲を拡大し、現在2,473人のボランティア会員が活動しています。主な活動は、児童・生徒の登下校中の見守りと声かけ、あいさつ運動推進、学校周辺や子どもたちの集まる広場周辺の巡回など。大勢で一緒に見回りをするのはなく、会員の都合にあわせて、それぞれが活動できる時間に取り組んでもらう形態のボランティアです。視覚効果を狙い、活動中は貸与された黄色い帽子（写真上）を着用。各学校では、1人でも多くの人に協力をいただきたいと、随時申し込みを受け付けています。また教育委員会では、市内の小学生6,659人に、子どもにもわかりやすい小冊子『安全で安心な毎日のために』を配布したり、『きみとわたしを守る家（子どもを守る110番の家）』の設置、『不審者に対する巡回パトロール』などを実施。市民安全課では、各学校や地域において『防犯教室』を開催しています。さらに、教育委員会と市民安全課が連携し、『みんなにとって安全で安心なまちづくり』市民講座を開催するなど、市として積極的な取り組みを行っています。

河間地区の取り組み

このような安全に対する市の取り組みを受けた河間地区では、河間地区自治会連合会長、防犯協会河間分会長、交通安全



■このコーナーを担当したのは



こ ば た の り こ は が た
古幡 典子さん（羽方）

全協会河間分会長、青少年育成市民の会河間地区長、河間小学校長の呼びかけにより、昨年8月、『河間地区安全対策会議』を開催しました。

河間小学校を会場に、自治会の代表者をはじめとする各種団体の関係者、地域住民など94人が出席。熱心に会議が進められ「自分たちが住む地域は自分たちで守ろう」、「安全の確保には何が必要か」、「住民1人ひとりがそれぞれの立場でできることはないだろうか」など、参加者全員で安全対策について考えました。

その結果、9月から、防犯協会河間分会が毎週3回、青少年育成市民の会河間地区が毎週1回、児童の下校時にパトロールを実施することに。また、河間地区で『子ども安全ボランティア』に登録されている134人に対し、自宅近くで児童の登下校を見守ってくださいとの呼びかけが行われました。大切な河間の子どもたちをみんなで守ろうという、温かい気持ちをひしひしと感じた会議でした。

多くの皆さんに協力していただくことになり、親である私たちにも何かできることはないかと考え、1月から、PTA役員による活動を開始しました。下校時のパトロールと、自分たちの車を運転する時、目立つ所に『防犯パトロール』と書かれたカードをつけて周囲にアピールする活動です。下校時のパトロールは毎週2回、3時から5時まで。3人1組の当番制で、腕章をつけ、車に『校外指導車』

（10ページ写真下）のステッカーを貼って、河間地区全域をパトロールしています。「実際に見ることによって、今まで気がつかなかった『子どもたちにとっての危険な場所』が発見できた」という参加者の声も聞こえてきました。18年度からはPTA役員だけでなく、全保護者に協力を呼びかける方向で、現在、話を進めています。また、河間地区の住民全員の協力をお願いしたいと考え、河間地区にある12の自治会でそれぞれ懇談会を開いていただき、その場に青少年育成市民の会河間地区役員と学校、PTA役員が出席して、協力の依頼をしているところです。

なお、3月2日には、河間小学校に『子どもの危険回避研究所』の西江麻由美副所長を招き、『親子防犯教室』を開催する予定です。犯罪から身を守るために、「危険な場所ってどんな所だろう」などと親子で考えたりいざという時のために、護身術などを教えていただくことになっています。

多くの皆さんの協力で守られている子供たちの安全。私もこの地区に住む親として、住民の1人として、今後も様々な活動にかかわっていかれたらと思っています。



◀下校する子どもたちに声をかける地域子ども安全ボランティア会員。

案内

標準小作料の改定

10アール当たり

地目		金額
田	畑	22,000円
7,000円		

※平成18年4月～平成21年3月までの3年間の金額です。

平成18年度農業労働力賃金

- 労働賃金 一般作業 7,000円
注1. 1日8時間を基準とする。
注2. 特殊な作業等の場合は、当事者間で調整してください。

■請負賃金 (10アール当たり)

作業別	金額	摘要
田 植 え	7,000円	植え付けのみ
田 耕 起	4,000円	耕起1回
畑 耕 起	3,500円	
代 か き	6,500円	
大型自脱刈り取り	18,000円	
コンバイン乾燥調整	32,000円	刈り取り配達含む
乾燥もみすり	750円	玄米30kg当たり
もみすり	300円	玄米30kg当たり
苗 代	700円	1箱
大豆刈り取り	11,000円	

県民交通災害共済加入手続き

平成18年度の加入手続きを受け付けています。会費を添えて市役所、川島出張所、各支所窓口へ（加入チラシと申込書は各窓口にあります）▼会費＝大人900円・中学生以下500円
■問い合わせ 市民安全課交通安全係 内線243・252

老朽消火器回収

老朽化した消火器の破裂による死傷事故が多発しているため回収します。
▼日時＝3月12日（日）午前10時～午後3時 ▼場所＝下館消防署（直井）
※回収場所は下館消防署のみです。
▼費用＝粉末ABC消火器1本800円
■問い合わせ 下館消防署 TEL2414504

下館地区学校体育施設開放利用団体調整会議

▼日時＝3月24日（金）午後6時30分（時間厳守） ▼場所＝市立下館総合体育館研修室 ▼内容＝4・5月分の日程調整 ▼持参品＝筆記具・代表者印・

登録申請書

■問い合わせ 市立下館総合体育館 スポーツ振興課 TEL2815040

関城地区体育施設開放利用団体調整会議

▼日時＝3月9日（木）午後7時
▼場所＝市関城体育館トレーニング室
▼対象＝関城地区内の社会体育施設（学校体育施設含む）を、定期的に利用したい団体の代表者 ▼内容＝①利用に当たっての注意事項②定期利用の調整（4月～9月）③その他▼注意事項＝この会議に出席しないと定期利用はできません。（代理出席可）
■問い合わせ 市教育委員会関城分室（関城体育館内）スポーツ振興係 TEL3716049

明野地区学校体育施設開放利用団体調整会議

▼日時＝3月10日（金）午後7時30分
▼場所＝明野公民館研修室 ▼対象＝4月1日（土）～9月30日（土）まで明野地区内の小・中学校体育施設を定期的に利用したい団体の代表者

自転車駐車が有料に

▼内容＝利用にあたっての注意事項、定期利用の調整（4月～9月分） ▼注意事項＝この会議に出席しないと定期利用はできません。（代理出席可）
■問い合わせ 市教育委員会明野分室（明野公民館内）スポーツ振興係 TEL5215333

4月1日から、下館駅北・南口自転車駐車場を利用する場合、使用料がかかります。（単位：円）

区 分		定 期 使 用			一時使用 1回
		1か月	3か月	6か月	
一 般	自転車	1,580	4,180	8,360	110
	原付自動二輪車	1,890	5,000	9,990	160
学生等	自転車	1,050	2,730	5,460	110
	原付自動二輪車	1,580	4,200	8,400	160

▶定期使用の申し込み＝北口自転車駐車場管理事務所で、3月1日（水）より受付（使用料の受け渡しは、指定管理者に委託してあります）

※駅周辺を『自転車等の放置防止条例』が同時に施行となります。左上図の車道・歩道等に放置すると、撤去されます。

すのでご注意ください。

■問い合わせ 市民安全課交通安全係
内線 243・252



イベント

●筑西遊湯館よりお知らせ

【第4回ゆめまつり】

▼日時 3月5日(日) 午前11時～午後4時(営業時間は午前10時～午後9時)
▼場所 筑西遊湯館
▼内容 ポイントカード大抽選会、手打ちそば実演販売、よーよーつり、地域物産展(野菜の即売など)、駄菓子つかみ取り(小学生以下に限定)、スポーツマッサージ(45分コース4,300円→3,500円)
▼入館料 別途必要

【第5回芸能発表会】

▼日時 3月26日(日) 午前11時30分～午後3時(営業時間は午前10時～午後9時)
▼場所 筑西遊湯館・大広間
▼内容 舞踊やフラダンス、ウクレレなどの発表
▼入館料 別途必要
※開催時間は、多少変更の場合あり
■問い合わせ
筑西遊湯館 TEL 33-5151

●市民交流ウォーキング大会

5回シリーズの最終メイン大会

▼日時 3月19日(日) 受付9時～スタート10時
▼集合場所 筑西市役所玄関前
▼コース ①本庁舎～県西総合公園(協和)～小貝川堤(明野)～黒子橋(関城)～旭が丘～勤行川堤～アルテリオ(約20km) ②本庁舎～勤行川堤～葦間山古墳～アルテリオ(7km)
▼参加費 300円
▼申し込み 氏名(ふりがな)・住所・電話・年齢を明記のうえ、3月15日(水)までにハガキ又はファックスで
▼後援 市・市教育委員会
■問い合わせ・申し込み
TEL 308-0112 筑西市藤ヶ谷1-158-2 筑西市ウォーキングクラブ連合会会長(事務局) 鳥生厚夫
TEL FAX 20-3386

筑西市誕生記念応援団事業

●日用品即売会 筑西市生活学校

▼日時 3月16日(木) 午前9時～
▼場所 アルテリオ前まちかど広場

▼内容 味噌・花・手作り小物・採り立て野菜などの即売
■問い合わせ しもだて地域交流センター
TEL 23-1616

●親と子で平和を考える 市民映画会

▼日時 3月25日(土) 午前10時30分
▼場所 市立生涯学習センター・ペアノ
▼内容 アニメ『あしたの元気になる!』(半分のさつまいも)
▼入場無料
■問い合わせ 総務課行政管理係
内線 333

●関城吹奏楽団 第10回記念定期演奏会

▼日時 3月26日(日) 開場午後1時30分 開演2時
▼場所 結城市民センター・アクロス大ホール
▼内容 平成18年度コンクール課題曲『トトロ』他
▼主催 演奏 関城吹奏楽団
▼入場料 前売600円 当日800円
■問い合わせ 関城吹奏楽団
代表 秋山 TEL 37-5859

●明野高校吹奏楽部第2回春季演奏会

▼日時 3月26日(日) 開場午後1時30分 開演2時 演奏時間2時間
▼場所 市立明野公民館『イル・ブリランテ』
▼入場無料
▼ゲスト 原進氏(吹奏楽指導・トランペット奏者)

■問い合わせ 明野高校吹奏楽部
顧問 藤曲和摩 TEL 52-3121

●下館YSO定期演奏会

▼日時 3月19日(日) 開演午後2時
▼場所 アルテリオ(しもだて地域交流センター)
▼入場無料
▼曲目 おもちゃの交響曲、アイルランド民謡、その他
■問い合わせ 下館YSO協力会
田沼 TEL 22-3789

●喜歌劇『ううもり』公演

筑西市誕生記念応援団事業

▼日時 3月19日(日) 午後2時
▼場所 市立明野公民館『イル・ブリランテ』
▼内容 筑西市の音楽愛好家が集い、オペラを公演(市民オペラ)
▼主催 筑西シティ・オペラ
■問い合わせ
明野公民館 TEL 52-5333

●春弥生市民交流輪投げ大会

▼日時 3月11日(土) 午前9時～正午
▼場所 市総合福祉センター・2階
▼参加者 子どもから高齢者まで
▼会費 大人のみ100円(賞品代)
▼内容 全個人戦、成績により賞品
ルールは市老人会大会に準ずる。
▼申し込み 当日受付
■問い合わせ
下館輪投げの会(五所公民館内)
代表 大和田 TEL 22-6130

●おっこのふるさと作品展

▼日時 3月29日(水)～4月2日(日)
午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで) ▼場所 下妻小友幼稚園(下妻市乙269 TEL44-2810) ▼主催 ぎやらりー『おっこの室』を支える会代表 武井希介

●問い合わせ

ぎやらりー『おっこの室』
TEL22-5500

●読みがたり

▼日時 3月18日(土) 午後2時～
▼場所 中央図書館おはなしコーナー
▼内容 絵本『めがねうさぎ』紙芝居『みんなりボン』他

●問い合わせ

野ばらの会 小葉 TEL22-4369

●読み聞かせ(中央図書館)

▼日時 3月12日(日) 午後2時～
▼場所 中央図書館おはなしコーナー
▼内容 パネルシアター『赤ずきん』絵本『たつくんのだてんしゃ』その他折り紙あそび

▼問い合わせ 読み聞かせ『あすなろの会』 中金 TEL25-0028

●読み聞かせ(関本公民館)

●おはなしたまてばこ
▼日時 3月11日(土) 午後2時～3時
▼場所 関本公民館 ▼内容 絵

本朗読『はるのプレゼント』『けんかのきもち』紙芝居『しずくのぼうけん』『ニャーゴ』

●問い合わせ

関本公民館 TEL37-6626

●読み聞かせ(協和公民館)

▼日時 3月18日(土) 午前10時30分～11時30分 ▼場所 協和公民館和室
▼内容 絵本の朗読や紙芝居、歌など楽しいお話をたくさんします。

絵本朗読『あいうえおちあいくん』『たまごのあかちゃん』歌など

●問い合わせ

読み聞かせの会
てくて姫 飯山 TEL57-6782

●えほんとふれあい会

▼日時 3月23日(木) 午前10時30分～ ▼場所 いずみ保育園 ▼対象 0歳～4歳の子どもと保護者
▼テーマ こんにちには ▼内容 絵本『げんきにあいさつ』『おはよう』

●問い合わせ

未来ネットワーク
栗原 TEL24-8070

●朗読テップ

▼生きるための死に方 新潮45編 90分5本 60分1本 ▼やつあたり文化論 筒井康隆 90分5本 60分1本
▼日本語 表と裏 森本哲郎 90分4本 ▼祖国とは 国語 藤原正彦 90分3本 60分1本 ▼ほとけの心は妻ごころ 田辺聖子 90分4本 ▼対象

者 視覚障害者、寝たきりの人、視力の落ちた高齢者の人など。テップは市総合福祉センターで無料貸出

●問い合わせ

野ばらの会 小葉 TEL22-4369

●スコレ母親講座

▼テーマ 気づいてますか？子どものサイン ▼日時 3月16日(木) 中央図書館和室 ▼時間 午前10時～11時30分 ▼講師 スコレ家庭教育振興協会 平石喜美子 ▼入場無料・託児あり

●問い合わせ

平石 TEL24-7797

募集

●ちくせい市民講師

『ちくせい市民講師』の登録制度を新たに実施することになりました。生涯学習ボランティアとして意欲をお持ちの人ならどなたでも応募できます。※旧下館市の『生涯学習わくわく市民講師』及び旧関城町『梨の里町民講師』に登録している人は、応募の必要はありません。

▼応募の方法 市教育委員会生涯学習課、各支所教育委員会分室及び各公民館に配置してある申請書に記入し、3月15日(水)までに各窓口へ ▼分野 一般教養、家庭生活、趣味、おけいこごと、スポーツ・レクリエーションなど

●問い合わせ

生涯学習課 TEL22-0182

●茨城県手話通訳者養成講座

▼期間 平成18年5月～平成20年2月の毎月第3土曜日・計60回 ▼会場 県総合福祉会館・筑波技術大学 ▼受講対象者 手話通訳者養成講座受講試験合格者 ▼募集人員 各会場20人 ▼費用 資料代1万円程度 【試験日・会場】 ▼日時 4月15日(土) 午前10時～ ▼会場 県立聴覚障害者福祉センター又は筑波大学 ▼応募締切 3月31日(金)

●問い合わせ・申し込み

茨城県立聴覚障害者福祉センター
TEL029-24810029

●市バレーボール協会チーム

▼対象 市内在住か在勤者で構成するチーム ▼チーム ①9人制バレーボール(家庭婦人) ②ソフトバレーボール

●問い合わせ・申し込み

市バレーボール協会事務局
堀江 TEL28-4421

●生きがいと創造の事業講座

▼講座 ①陶芸・募集40人 ②籐(竹)細工・募集30人 ③革工芸・募集40人 ※定員を超えた場合は抽選 ▼対象 市内在住で60歳以上の人 ▼場所 市総合福祉センター ▼開催期間 5月～平成19年3月初旬 約月2回(年21～22回) ▼費用 無料(材料費等実費負担あり) ▼申込期間 3月8日(水)～15日(水)まで(土・日曜日

を除く）午前9時～午後4時 ▼受付場所 市役所エントランスホール（ただし、3月8日（水）午前10時以降は高齢福祉課12番窓口へ）

■問い合わせ 高齢福祉課
いきがい支援係 内線218

●4月企画あそび参加者募集

■下館子育て支援センターにこにこ

▼日程・テーマ ①4月12日（水）風船 だいすき ②4月19日（水）親子ふれあいあそび ③4月26日（水）こどもの日の飾りをつくろう ▼時間 午前9時30分～11時30分 ▼募集人員 ①先着各30組 ▼費用 無料 ▼申し込み ③3月16日（木）午前9時～電話または直接、下館子育て支援センターへ ＊子育て支援センターを利用できるのは、市内在住の0歳～6歳までの未就園の子どもと保護者です。※初めての人は、利用の手続きをしてください。（印鑑持参）

■問い合わせ

下館子育て支援センター
TEL 2513141

●写真講座『DAN』会員募集

▼講座内容 ①1月1回撮影指導及び作品研究 ②年2回撮影旅行 ▼会費 年会費10,000円 ▼申込期限 3月31日（金）まで

■問い合わせ・申し込み

長谷川 TEL 2416688

相談

●生活の困りごと相談

法律・人権・行政相談に応じます。

▼費用 無料 ▼対象 市内在住の人

【法律相談】 ▼日時 3月23日（木）

午後1時～3時 ▼場所 市民会館1階会議室 ▼相談人数 先着8人 ▼

相談員 弁護士 ▼申し込み 事前予約要。3月13日（月）の午前9時から

市広報広聴課広聴係へ電話で申し込み

ください。【人権相談】 ▼日時・会場

③3月6日（月）午前10時～正午 明

野老人福祉センター／3月23日（木）

午後1時～3時 市民会館1階会議室

▼相談員 人権擁護委員（法務大臣委

嘱）【行政相談】 ▼日時・会場 3月

6日（月）午前10時～正午 明野老人

福祉センター／3月23日（木）午後1

時～3時 市民会館1階会議室 ▼相

談員 行政相談委員（総務大臣委嘱）

*人権・行政相談の事前申し込み不要。

■問い合わせ 市広報広聴課広聴係

内線 200・201

●よろず相談

▼日時 3月19日（日）午前9時30

分～正午（受付11時まで） ▼場所 ア

ルテリオ2階会議室 ▼相談項目 法

律・医療健康・税務・建築・金融投資・

教育・不動産行政手続き ▼相談員

弁護士、各課専門医師、公認会計士、

一級建築士、金融関係者、教育関係者、不動産鑑定士 ▼秘密厳守無料 ▼主催 下館ロータリークラブ

■問い合わせ 下館ロータリークラブ
横山 TEL 2810756

健康

●下館商工会議所卸商業部会『健康に関するセミナー』

▼日時 3月16日（木）午後1時30分

～3時 ▼会場 アルテリオ1階集会

室 ▼演題 ①たばこのない世界を目指し

て ▼講師 ①平間病院・平間敬文院長

②セナミ学院・広瀬陽一校長 ③渡

辺歯科医院 渡辺進院長 ▼主催 下

館商工会議所中小企業相談所、同卸商

業部会 ▼入場 無料

■問い合わせ・申し込み

下館商工会議所 TEL 2214596

●内臓脂肪型肥満予防講演会（メタボリックシンドローム）

▼期日 3月19日（日）午後1時30

分受付 講演 午後2時～4時 ▼対

象者 健康診断の結果、肥満（BMI

25以上）、高血糖・高脂血症等の所見

及び健康に関心のある人 ▼参加費無

料 ▼申し込み 3月15日（水）までに明

野保健センター（TEL 5215252）へ

●第1回地域リハビリ講演会

▼日時 3月19日（日）午後1時30分

～3時 ▼場所 協和中央病院講堂

▼内容 『在宅リハビリテーション』

▼講師 茨城県健康プラザ・太田仁史

先生 ▼対象者 県西地区在住の人

▼参加費 無料 ▼主催 協和中央病院

▼申し込み 協和中央病院リハビリ

テーション科（TEL 5717221）へ

不要品リサイクル

■ゆずります

2月15日現在

品名	規格・内容	備考
ベビーベッド		中古 無償
製図台	1m×1m	中古 無償
バスケットゴール	台つき 高さ2.5m	中古 5,000円
学習机	木製 椅子つき	中古 無償
洗濯機	全自動 サンヨー	中古 3,000円
電子レンジ	シャープ 45×30×35cm	中古 無償
ストーブガード		中古 無償
すべり台	プラスチック製 小型	中古 無償
C・Dコンボ	パナソニック 55×60cm台つき	中古 3,000円
歩行器		中古 無償
ファンヒーターガード		中古 1,000円
ベビーカー	軽量	中古 1,000円
インスタントカメラ	インスタックミニセブン 富士フィルム	新同 500円
ピアノカ		中古 無償

■ゆずってください

ベビーカーA型 ベビーカーB型 双子用ベビーカー ベビーサークル ベビーバス チャイルドシート 子ども用自転車 12インチ シングルベッド セミダブル バソコン ワープロ 小型冷蔵庫 バイク 50cc ジュニアシート すべり台（木製）ぶらんこ サイドボード 三輪自転車 西中女子制服

※毎週月曜・水曜日の午前9時30分～正午に『下館消費者友の会』が運営する『不要品リサイクル情報センター』（市消費生活センター内）TEL 内線292で受け付けています。

明野薪能

第13回公演

平成18年4月8日(土) 午後5時始

狂言 苞山伏

子どもたちによる

小舞

柳の下

小舞

暁

狂言

附子

能 天鼓

舞囃子

羽衣

主催／明野薪能実行委員会

後援／筑西市・筑西市教育委員会

【明野公民館中央公園特設舞台】

<http://www3.ocn.ne.jp/~akeno-no/>

問い合わせ 明野公民館TEL(52) 5333 月曜休館



編集後記

昔の針仕事は、女性にとっての重要な仕事。それゆえ1年間使った古い針などを、普段固いものばかりに刺しているから柔らかいこんにゃくや豆腐に刺して休ませてあげ、裁縫の上達を祈ったのが針供養。今では、日ごろ裁縫にたずさわる女性が少なくなりましたが、妻から夫へ、母から子へ、そして恋人へ、一針一針に込められた想いに変わりはないと思った。(も)



桃の花。3月3日のひな祭りには、ひなあられ菱餅、白酒などと一緒にひな壇に飾ります。

昭和24年、法隆寺金堂が焼失。これを受けて文化財防火デーが定められ、この日にあわせて全国で、文化財防災訓練が行われています。今年、筑西市の訓練会場となったのは、中館にある観音寺。前日から降った雪が積もる本堂に向けて放水が行われ、地域住民も参加して、消火器による消火訓練などを実施しました。文化財は地域の財産、みなさんも大切にしましょう。(8)